

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されてから5年。癒しを求め、高野・熊野を訪れる人は増え続けている。

なぜ人は高野・熊野に惹かれるのか。紀州の風土や歴史を描き続ける作家、神坂次郎氏と、和歌山県の美しい自然と文化を敬愛する仁坂吉伸知事が、高野・熊野の魅力について語り合う。

世界遺産登録5周年

知事対談

高野・熊野に

息づく「寛容の文化」

自然が生んだ 「混沌の優しさ」

仁坂知事(以下仁坂) 長年にわたって

紀州の文化を追求し、旺盛な執筆活動

を続けて来られた神坂先生に、高野・

熊野を題材として和歌山の特徴などを



写真④熊楠が守った縦桜(つぎざくら)王子周辺の一方杉。
写真⑤南方熊楠

す。そして学会の方々も熊楠の
価値をちゃんとわかつて、大英博物館も日本の

熊楠の真価を見極めた人々

仁坂 県民の中には、そんな和

歌山の自然を守ろうと活動された方が多くいます。南方熊楠さんも神社合祀令で神社周辺の巨木が伐採されることに反抗しました。

神坂 熊楠という人は、名前そのものが熊と楠。*藤白神社にあるクスノキから名前をもらつたので、自身も神社の申し子だと信じていた。「どうしても自分が和歌山の自然を守らねばならない」という意識があつたと思います。1人での反対で弱かったのですが、留置所に入れられても粘菌を見つけて持ち帰つてはいる。そして、まるで凱旋将軍のように戻つてくるのです。熊楠を支えた田辺の町の人々

どうしても
自分が和歌山の自然を
守らねばならない

たちがまた素晴らしかった。奇行も目立つた人ですから避けられてもおかしくないのに、親愛の情を持つて迎えてくれたんですね。

仁坂 田辺の人々は、彼の本当の価値を見出していたの

でしょう。その流れが今でも十分にあると思います。平成18年に田辺市がつくった南方熊楠顕彰館では熊楠が研究したことをそつくり保存しています。見せるためだけの施設ではなく、熊楠が遺した膨大な資料の格納庫でもあるわけだ

お伺いしたいと思います。まず熊野についてですが、熊野には多くの上皇や貴族が魂の救済を求めてやってきましたね。その後は民衆化して蟻の熊野詣と言われる現象も起きましたが、どうして熊野が巡礼の地になったのか。なぜ都の人々は熊野に神秘を感じたのでしょうか

神坂 都から見ると辺境の地はたくさんあるのに、熊野が聖地と讃えられたのは、自然の力が大きいよう気がします。私は世界中の森に行きましたが、和歌山の森の特徴は色々なものが混ざっていることだと感じます。高山植物が海岸沿いにあつたり、海岸線に自生するウバメガシが山の中にあつたり、常緑広葉樹林の中にトチノキやケヤキもある。そういう風に色んなものが混ざって、それが一種の幽玄な気分を醸し出したんじゃないでしょうか。それは「混沌の優しさ」のようなものだと思います。

仁坂 都から見ると辺境の地はたくさんあるのに、熊野が聖地と讃えられたのは、自然の力が大きいよう気がします。私は世界中の森に行きましたが、和歌山の森の特徴は色々なものが混ざっていることだと感じます。高山植物が海岸沿いにあつたり、海岸線に自生するウバメガシが山の中にあつたり、常緑広葉樹林の中にトチノキやケヤキもある。そういう風に色んなものが混ざって、それが一種の幽玄な気分を醸し出したんじゃないでしょうか。それは「混沌の優しさ」のようなものだと思います。

仁坂 都から見ると辺境の地はたくさんあるのに、熊野が聖地と讃えられたのは、自然の力が大きいよう気がします。私は世界中の森に行きましたが、和歌山の森の特徴は色々なものが混ざっていることだと感じます。高山植物が海岸沿いにあつたり、海岸線に自生するウバメガシが山の中にあつたり、常緑広葉樹林の中にトチノキやケヤキもある。そういう風に色んなものが混ざって、それが一種の幽玄な気分を醸し出したんじゃないでしょうか。それは「混沌の優しさ」のようなものだと思います。

うか。
神坂次郎氏(以下神坂) 都の人々にとって、熊野は聖地と考えられてきました。例えば串本町潮岬の浜辺に静之窟という洞窟がありますが、小彦名命と日本書紀に記されています。中世にも補陀落度海という風習がありました。が、延喜式の頃の地図では南限が紀州中でしたから、人々は南の熊野で浄化されたいと願つたのでしょう。熊野へ行くことは敗者復活なんです。



和歌山県知事
仁坂吉伸(にさか よしのぶ)



神坂次郎(こうさか じろう)

Profile

1927年和歌山市生まれ。小説家。82年『黒潮の岸辺』で日本文芸大賞受賞。87年『縛られた巨人 南方熊楠の生涯』がベストセラー・ロングセラーとなり、熊楠ブームが起きる。92年の皇子殿下の熊野行啓に際しては、著書『熊野行幸』を約2時間にわたって御講進した。2002年「南方熊楠特別賞」受賞。



主な著書
『縛られた巨人 -南方熊楠の生涯-』
(新潮社)
天才と称された在野の学者・南方熊楠の生涯を、膨大な資料から読み解く。

『紀州の方言』編著
(有馬書店)
紀州の方言を解説した、和歌山に生まれ育った神坂氏ならではの知識と経験が生きた一冊。

神坂次郎×仁坂吉伸

高野・熊野に息づく「寛容の文化」

がきりつとしていて「学者の女房がちらちやらしたものは着られない」と生涯木綿の着物しか着なかつたそうですが。それから天皇陛下の前で回れ右しなければならぬので、運動神経が鈍い熊楠は、芸者を呼んで、回れ右の練習を一晩中やつたという話もあります。そういうおかしな所がまた、人々に愛されたのでしよう。

和歌山県民が持つてゐる、人間の本当の価値がわかるようなどころ。そこが遺憾なく發揮されてゐますね。

仁坂 熊野には全国から巡礼者が来て日本に帰つて来るんですね。

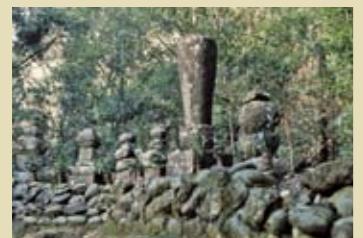
神坂 ええ。中国からもすぐ帰つてきているんです。普通の人が何十年もかかるものを、さつと要点だけ覚えてしまう感度の良さがある。それを自分の学問として増幅させて方々に伝えた。これは異才というか天才ですね。

仁坂 司馬遼太郎さんは、「空海は音樂と語学の天才だ」と書いておられます。

中国に行つたとたんに、遣唐使の通訳をしたり、もめ事があると解決したり。それから中国の歌を上手に歌つて、歌手として一世を風靡したとか。これはちよつと言ひ過ぎたかもせんが(笑)。

仁坂 声明が大変上手だということ

解説



補陀落渡海(ふだらくとかい)

中世の日本では、はるか南方の彼方に觀音淨土が存在すると信じられ、僧侶たちがこれをを目指して船出した。拠点となつた那智勝浦町の補陀洛山寺には現在、復元された渡海船が展示されており、那智の浜から渡海して行つた海上他界上人らの墓(写真)もある。



藤白神社

海南市の熊野古道沿いに位置し、古くは熊野九十九王子社の中でも別格とされた五体王子の1つ。境内には子守楠神社のご神体として民間信仰を集めることの多いクスノキの巨木があり、熊楠の名もこのクスノキにあやかって付けられている。



熊楠が詠まれた御製の歌碑

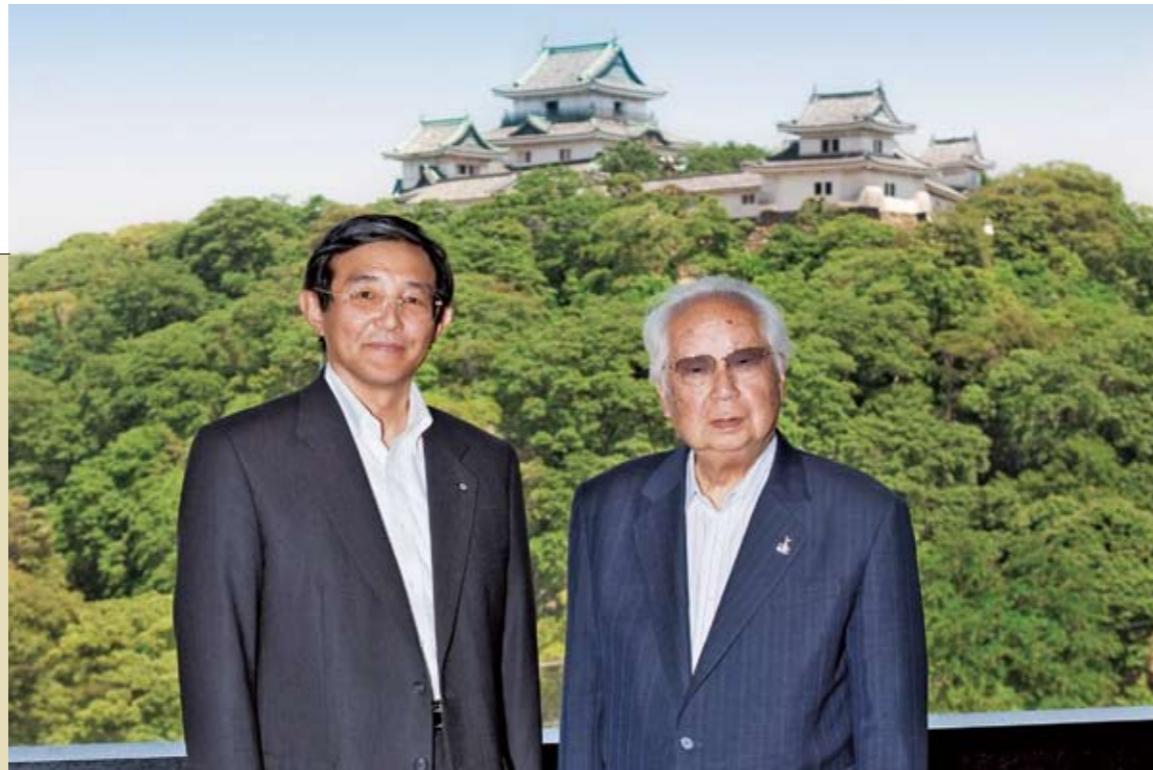
一雨にけふる神島を見て紀伊の國の生みし南方熊楠を思ふー
白浜海岸にある南方熊楠記念館の敷地内には、昭和天皇御製の碑が建立されている。
(写真提供/財団法人南方熊楠記念館)



神島(かしま)

田辺湾に浮ぶ小島。生物学上、貴重な植物が繁茂していたことから熊楠がよく愛した。昭和4年に熊楠が神島に渡り、昭和天皇に御進講を行つてゐる。

(写真提供/南方熊楠顕彰館(田辺市))



魂の救済は万人の願い

仁坂 熊野には全国から巡礼者が来

す。それから天皇陛下の前で回れ右しなければならぬので、運動神経が鈍い熊楠は、芸者を呼んで、回れ右の練習を一晩中やつたという話もあります。そういうおかしな所がまた、人々に愛されたのでしよう。

和歌山県民が持つてゐる、人間の本当の価値がわかるようなどころ。そこが遺憾なく發揮されてゐますね。

* 関雞神社(とうけいじんじゃ)の娘さんで、小柄な方です

がきりつとしていて「学者の女房がちらちやらしたものは着られない」と生涯木綿の着物しか着なかつたそうですが。それから天皇陛下の前で回れ右しなければならぬので、運動神経が鈍い熊楠は、芸者を呼んで、回れ右の練習を一晩中やつたという話もあります。そういうおかしな所がまた、人々に愛されたのでしよう。

確かにそうですね。紀州は気候もいいので、冬でも海岸縁の洞窟のような所で野宿ができる。宮廷のお公家さんでも道に穴を掘つて、枯れ草を敷いて寝ていたんです。その様子を詠んだ、中世のいい歌が残っています。それが次第に庶民の熊野詣になつて、巡礼として全国に広まつた。

確かにそうですね。紀州は気候もいいので、冬でも海岸縁の洞窟のような所で野宿ができる。宮廷のお公家さんでも道に穴を掘つて、枯れ草を敷いて寝ていたんです。その様子を詠んだ、中世のいい歌が残っています。それが次第に庶民の熊野詣になつて、巡礼として全国に広まつた。

確かにそうですね。紀州は気候もいいので、冬でも海岸縁の洞窟のような所で野宿ができる。宮廷のお公家さんでも道に穴を掘つて、枯れ草を敷いて寝ていたんです。その様子を詠んだ、中世のいい歌が残っています。それが次第に庶民の熊野詣になつて、巡礼として全国に広まつた。

確かにそうですね。紀州は気候もいいので、冬でも海岸縁の洞窟のような所で野宿ができる。宮廷のお公家さんでも道に穴を掘つて、枯れ草を敷いて寝ていたんです。その様子を詠んだ、中世のいい歌が残っています。それが次第に庶民の熊野詣になつて、巡礼として全国に広まつた。

各地に同じような歌詞がいっぱい残つてゐるんです。四国や九州の海沿いでは熊野の唄と同じものが残つています。

なるほど。熊野は古くから人々の魂を救つてきた所ですから、これからも多くの人に来ていただきたいと思います。

日本人に今、一番求められるのが魂の救済ではないでしょうか。物はある程度ですが魂は荒廃しておりますか

ら。熊野は古來から死者の国と書かれていますが、それは聖なる死者の国であつて、しかも、魂が再び甦るという再生の思想が強くあるわけです。

日本人に今、一番求められるのが魂の救済ではないでしょうか。物はある程度ですが魂は荒廃しておりますか

ら。熊野は古くから人々の魂を救つてきた所ですから、これからも多くの人に来ていただきたいと思います。

なるほど。熊野は古くから人々の魂を救つてきた所ですから、これからも多くの人に来ていただきたいと思います。

日本人に今、一番求められるのが魂の救済ではないでしょうか。物はある程度ですが魂は荒廃しておりますか

ら。熊野は古來から死者の国と書かれていますが、それは聖なる死者の国であつて、しかも、魂が再び甦るという再生の思想が強くあるわけです。

人を受け入れる 地元の人の温かさが、 熊野信仰を形成する風土

仁坂 魂の救済や蘇りは万人の願い

だつたわけですね。

本拠地の熊野には、めつたに行けませんから、それで各地に分祀して想いを託したんでしょう。

神坂 向こうで一番もてたのが空海だというんですから。有名なお坊さんは他にもたくさん行つてゐるんですよ。最澄とか。

で、時の皇帝に召されてスターになつてしまふ。

神坂 向こうで一番もてたのが空海だというんですから。有名なお坊さんは他にもたくさん行つてゐるんですよ。最澄とか。

仁坂 高野山にも空海という傑出した宗教家がいます。空海は中国で学んだことを日本で広めた人、真言宗を日本に持ち帰つた人だと私は思つてたんです。でも先生の本を読ませていただき、勉強しましたら、とてもそんなレベルではない事がわかりました。彼は大変な想いを心の中に秘めて中国へ渡る。そこで様々な修行をされて、中国のトップになつてしまふ。つまり正当なる真言密教の後継者となり、世界のナンバーワンと

仁坂 高野山にも空海という傑出した宗教家がいます。空海は中国で学んだことを日本で広めた人、真言宗を日本に持ち帰つた人だと私は思つてたんです。でも先生の本を読ませていただき、勉強しましたら、とてもそんなレベルではない事がわかりました

神坂次郎×仁坂吉伸

高野・熊野に息づく「寛容の文化」



神坂 高野・熊野に来られる方は、心に傷を持った方が多いんですが、ただ歩いている間に癒されてしまうんです。森林ますし、雄大な海を見ても、あまりの美しさに感動しますしね。



空海も偉大ですが、
それを受け継いで
守った人も偉大であった

神坂 高野の山上にあれだけ広い敷地を見つけるまで、空海はまずいぶん歩き回ったことでしょう。歩く宗教ではないかと思うくらいです。

ちゃんと日本風にして広めたんですね。若い頃に著わした*『三教指帰』もそうですが。世の中には思いもかけないような異才というのがいるんですね。

仁坂 そうですね。地位の高かつたお坊さんたち、日本のトップとして学びに行ってます。しかし空海は日本の既成の宗教のトップではなかつた。全国を歩き、自らの知力を高めて中庸へ行つて、あつという間にトップに上り詰めたんです。これは凄いなあ。

神坂 しかも中国そのままでなく、

して高野山は残つた。なぜ残ってきたんだらうかと、私は色々考えるんです
が……。
神坂 空海も偉大ですが、それを受け継いで守った人も偉大であつたと思いま
す。天の配剤でそういう人物がいたからこそ守られたんぢやないでしようか。
仁坂 平安時代の後期には、覚鑓上人かくばんじょうじんと対立したことがありますね。覚鑓が高野山を下山されたことが、根来寺を建立するきっかけになりましたが。それ

思います。つまり、寛容の文化ですね。例えれば高野では、奥の院に行けば色々な宗派のお墓が並んでいます。熊野には、「老若男女を問わず貴賤を問わず。淨不淨を問わず信不信を問わず」という有名な言葉があります。今でも宮司さんが「キリスト教式にお参りして下さつてもいいですよ」と言っておられます。人間には対立軸というものがありますが、それを先鋭化させずに「まあ、相手の立場もあることだし」とうまくやってきたわ

A portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a white shirt and a dark suit jacket. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

高野・熊野を守ってきた
昔の人々のよき心を、
子どもたちが引き継いでくれるよう

和歌山の経済力も
大切です。我々が差
え、ここに住み続けれ
ば、永遠に高野・熊野を
守つていかなければ
いけない。やること
はたくさんあります
が、がんばつて
いかなければ強
く思っています。本
日は本当にありがとうございました。

て観光客をガイドしたらどうかと。腕章なんか巻いて(笑)。

仁坂 それは面白い！ ゼひプロモートしてみたいですね。

神坂 地域の歴史を知れば郷土愛にもつながりますし、観光客も喜んでくれますよ。

仁坂 行政も力を合わせてやつしていくべきことは多いと思います。世界遺産やその周辺の雰囲気を守つていくために、昨年、景観条例を作りました。それから、たくさんの方に来ていただくために観光にも力を入れたい。そして教育。高野・熊野を守ってきた昔の人々のよき心を、子どもたちが引き継いでくれるよう

仁坂 「その価値は皆同じ」というのは大事ですね。最近は同じ人間同士でも価値が違うとするような風潮があります。宗教でも宗派が違うと争いますし、戦争にもつながります。価値に差を付けたり利益を独り占めしたり、それではもうだめだと日本の人も世界の人も気付き始めている。そういう行き詰まつた気持ちを癒してくれるのが高野・

にはあまり動いてないんですね。表面
上は。
仁坂 内側ではちゃんと動いているん
ですか。

はそういう思想があるんですね。熊楠は小さな粘菌でも大木でも皆同じ生き物であると言つてゐる。でもそれは熊楠が発見した事ではなく、実は昔からある考え方なんですね。どう、うとうのことで、西直

こそ守られたんじゃないでしょうか。
仁坂 平安時代の後期には、覚鑓^{かくばん}上人と対立したことがありますね。覚鑓が高野山を下山されたことが、根來寺^{ねごろじ}を建立するきっかけになりましたが。それから安土桃山時代には、応其上人が秀吉と渡り合つて高野山を守っています。

が「キリスト教式にお参りして下さってもいいですよ」と言つておられます。人間には対立軸というものがありますが、それを先鋭化させずに「まあ、相手の立場もあることだし」とうまくやつてきたわけです。